



広報

松江市南消防署



「法人理念」
安らぎのある生活
その人がその人らしく
地域と共に

NO.21

2021年12月 発行



総合防災訓練

目次

- P1・・・総合防災訓練
- P2・・・機能訓練部門紹介
- P3・・・地域貢献事業
- P4・・・行事報告、在宅コラム等

万一の災害に備えて十一月十日（水）、法人全体での総合避難訓練を実施しました。例年は、明神住宅自治会の皆さんと一緒に実施しますが、今年もコロナの影響で法人のみでの実施となりました。今回は、ユニット一階台所の食洗器から出火したとの想定で、消防署への通報から、館内放送、避難誘導等、一連の訓練を行いました。

当日は、松江市南消防署の協力を頂き、手順通りの対応や行動を適切に、速やかに行っているかを点検して頂きました。実施後の総評で、誘導時は二次災害防止のため階段は走らない。煙火を防ぐため、扉を開いたまま誘導しない。拡声器を常備しておく等、ご指導頂きました。当法人では毎月、様々な災害を想定して訓練を行っています。

訓練を通して 意欲の向上や安心感を

一人ひとりの個性を大切に

津田の里では、入居者様の機能維持改善を図り、少しでも潤いのある生活を送って頂くことと、今年の四月から作業療法士が仲間入りしました。本号では、その取り組みをご紹介します。

機能訓練指導員は、介護士、看護師、按摩マッサージ指圧師など、他職種と連携しながら入居者様の健康状態や生活動作を評価し、一人ひとりの状態に合わせた機能訓練プログラムを提案し実施しています。

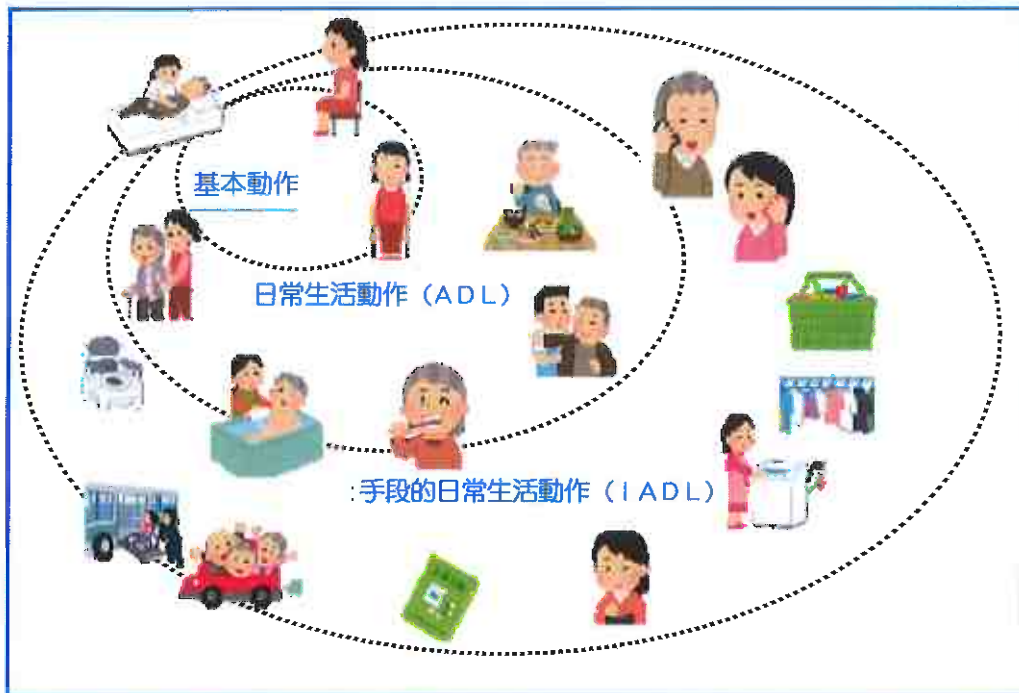


訓練指導員・福田将弘

本館・新館で機能訓練を担当しています福田将弘です。津田の里に入職して九ヶ月が経ちますが、毎日楽しく仕事をさせて頂いています。

入居者様の元気な姿や笑顔に接すると、仕事のやりがいを感じます。趣味は、家族とドライブをすることで、リフレッシュを図っています。

今後の目標は、機能訓練が生活の一部として定着するよう、他部署と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。



機能訓練の対象となる要素



「最初は硬かった体が、リハビリを始めてから段々柔らかくなってきました」と話される錦織様



リハビリは、みんなで楽しく「まつり体操」に合わせて全身運動 心も体もリフレッシュ!!



訓練を終えた若槻様は「リハビリを頑張って、歩けるようになりたい」と意欲的に取り組まれています

機能訓練を行う際は、ご入居者様の出来ない部分だけに着目するのではなく、その人らしさを大切にし、訓練を通じて意欲の向上や安心感、癒しなどを感じて頂けることを目的に実施しています。

また、介護における安全で丁寧なケアに繋げるための取り組み、介護者の負担軽減のための介助方法の提案、ご入居者様にとって最適な福祉用具の選定を行い、過ごしやすい環境を整えることも並行して行いながら、日々業務を行っています。

基本動作能力とは・・・寝返り、起き上がり、座位保持、立ち上がり、立位保持、歩行などを指します。全ての運動・活動の中核となる部分です。

ADLとは・・・日常生活を送るために最低限必要な日常的な動作。食事やトイレ、入浴、整容、着替えなどがあります。私たちが日常生活を送るために必要な動作、日常的・習慣的に行っている活動を指します。

IADLとは・・・「手段的日常生活動作」と呼ばれADLより高度なものです。主なIADLには電話を掛ける、買い物や洗濯、家事全般、金銭管理、服薬管理、交通機関の利用といった動作・行動があります。

趣味活動に役立ててください
～塗り絵用具を寄贈～

「入居者様の趣味活動に役立ててください」と十月十三日、松光会絵画クラブ様から塗り絵用具一式を寄贈頂きました。

同クラブの皆さんには、絵画を定期的に新館パブリックスペースに展示して頂いています。コロナ禍で外出が出来ない中、入居者様の散歩時や職員の日を楽しませて頂いています。

早速、寄贈頂いた用具で、入居者様の趣味活動に活用させて頂いています。紙面を借りて、お礼申し上げます。



▲作品を鑑賞しながら、作品の話題で花が咲きます

入居者様は早速、塗り絵を楽しんでおられます



▲松光会絵画クラブ代表の神門様（左）から、塗り絵用具をご寄贈頂きました



明神さわやか会

小旅行



久しぶりの行事に笑顔があふれていました

十月二十四日、明神さわやか会の小旅行が開催されました。コロナで開催が心配されましたが、徐々に感染者数が少なり、職員も参加し飯南町へリンゴ狩りに出掛けました。

大しめ縄館では、作業風景を鑑たりリンゴ園ではもぎたてのリンゴに、味を評価しながら旅行を堪能していました。

コロナの影響で、毎月の定例会も中止を余儀なくされていることから、旅行を通じて久々の再開に笑顔があふれていました。

松江商業高校吹奏楽部

オンラインコンサートが
ご縁で
～寄書きを寄贈～

松江商業高校吹奏楽部の皆さんが、県大会で優秀な成績を収められ、中国大会への切符を得られたことに伴い、大会での健闘を祈って入居者様と職員が協働で寄書きを作成し同吹奏楽部へ寄贈しました。

これは、コロナ禍で楽しみが少くない入居者様に「音楽で楽しんで頂こう」と、今年の五月にオンラインでコンサートを開いて頂いたことがご縁で寄贈したものです。

中国大会でも、見事に金賞を受賞されこれからの活躍が期待されます。これからの活躍が期待されます。これからの活躍が期待されます。入居者様に楽しみと元気を届けて下さい。



職員が商業高校に出掛け、部員の皆さんの演奏に合わせて、オンラインで歌と演奏を届けて頂きました

中国大会前、商業高校で皆さんを代表して、施設長が激励の言葉を交わす機会を設け、今後の交流を願って、お礼の言葉を贈呈しました

深まる秋の中で、みんなで歌を唄ったり体操をしながら楽しい時間を過ごそうと11月20日、本館ホールで「どんぐりコンサート」を開きました。

本番に向けて、職員は楽器演奏の練習を重ね、曲目も秋にちなんだ“赤とんぼ”や“ふるさと”を入居者様と職員が一緒になって合唱。

また、コンサートの前には機能訓練指導員による体操を行うなど、心も体も元気になって頂き、会場には笑顔と笑い声が広がっていました。この体操が、毎日の日課として定着するよう、取り組んでいきたいと考えています。



歌って笑って 楽しく体操



歌に合わせて職員のギター演奏・・・ちよっと緊張気味



職員の踊りに、入居者様から拍手喝采が起きていました

秋の風物詩の一つ「干し柿作り」を十月二十五日に行いました。入居者様は、慣れた手つきでピーラーや包丁を使って柿の皮むきをされ、職員に細に柿を取り付けるコツや、若い頃の話に花を咲かせながら、あつという間に用意した五キロの柿の皮むきが終了。熱湯消毒後、軒下に吊し食べられる日を心待ちにされていました。

そして十一月初旬、出来た干し柿を早速お茶うけにして、お茶会で召し上がられています。入居者の田中様は「やっぱり、自分たちで作った干し柿だけん美味しいわ」と、満足そうにお話されていました。



今年も、上手に干し柿ができました



皆さんで皮むき手慣れた手つきです

どれどれ味はどうか、ウツツ美味しい！

手作りの干し柿で 楽しくお茶会

在宅コラム

一般的に、餅の入った汁物が雑煮と呼ばれ、主に正月などハレの日に食べられます。知られているものだけで、その種類は100を超えるほど多様です。山陰地方は小豆雑煮が多いようです。小豆の赤色には、邪気を払う力があり縁起が良いとされています。お正月のお雑煮を楽しみにしている方も多いと思いますが、のどに詰まらないようご注意ください。

来年は寅年。来る年も、よろしくお願ひ致します。 在宅職員一同

全 国 の お 雑 煮



皆様のお役に立てるよう頑張ります

初めまして、十二月から看護師として入職した小川花子です。これまで、病院や施設で介護福祉士として働いてきました。施設での看護経験は未経験のため、至らない点や、皆様にご迷惑をお掛けすることもありますが、入居者様のためには一杯頑張りますので、よろしくお願ひ致します。



看護師 小川花子

お問い合わせ
 社会福祉法人 松豊会
 特別養護老人ホーム 津田の里
 TEL 28-1950
 FAX 27-1950



編集後記
 今年も残り僅かになりました。皆さんにとって、今年はどうな年でしたでしょうか。今年もコロナで、仕事や生活に影響があった方が多かったのではないのでしょうか。津田の里では十二月初旬現在、感染者数の減少に伴い、制限を設けながら対面での面会を再開しました。第六波や新たな変異株も心配されます。

皆様にとって、来年が良い年になることをお祈りして、今年最後の「広報つだの里」をお届けします。(須貝)